

体験学習用課題フォルダ

小4～5年生用



体験学習の二回分は、この課題フォルダを使ってください。

はじめに 小4~小5用

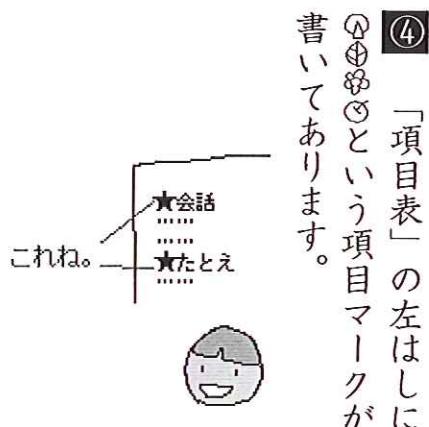
この体験学習用課題フォルダは、通信生、通学生共通ですが、説明は主に通信生用に書いてあります。

通学生は、次のように読み替えてください。

通信生	通学生
電話がある。	授業がある。
ポストに投函する。	先生に作文を提出する。

① 体験学習の一週目

その週の課題を見て書くことを決めておいてください。家族に似た話を聞くと話題が広がります。



⑦ 書き終えた作文については、注意をしたり手直しをしたりせず、いいところを褒めてあげてください。

④ 「項目表」の左はしに「会話」という項目マークが書いてあります。

② 担当の先生から、体験学習の日に電話があります。

時間から十分たっても電話が来ない場合は、教室までお問い合わせください。
(受付午後八時まで)

⑧ 作文に自分の住所シールを貼り、封筒用紙には先生の住所シールを貼つてください。

⑤ 作文を書いたあと、その項目のできたところに項目マークを書いておいてください。

⑨ 作文は、翌日の午前中までにポストに投函してください。
海外の生徒は、「学習の手引」「手書きの作文のアップロード」を参考して送つてください。

⑥ 作文を書いていて、わからなくなつたら教室に電話をして聞いてください。

③ 電話のあとすぐに書き始めて、途中で休まずにその日のうちに書き終えてください。(あまり時間がかかるときは、途中までで提出してもかまいません。)

書き方の例（小4～小5）

書き出しの工夫のといひ方に

がんばつたこと

小四 森野 一郎

「やつたあ。」

ぼくはさけびました。やつと工作がかんせいしたのです。お母さんは、
「よかつたね。」

と言いました。お母さんは、にこにこして
まるでお日さまのようです。

ぼくは、お父さんにもにた話を聞いてみ
ました。すると……（略）……。

ぼくは、また、ちようせんしてみようと
思いました。

前の話や聞いた話のといひ方に

たとえのといひ方に

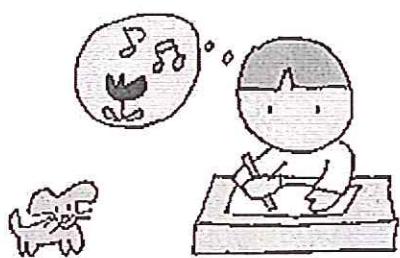
《会話のといひ方に》

（）

（）

（）

（）



項目（じゅうめい）（へいめい）のできたと
ころをかきましょう。

できたといふを「かく」で囲む

必要（ひつひつ）はありません。
項目（じゅうめい）は、どれか一
種類ができるければ合格（じゅく
く）です。

●保護者の方へ： 作文が書けたら直さずに、いいところだけ見て、そのまま提出してください。

課題集 小4～小5 の山

週	課題	週	課題
体験 1週目	★がんばったこと (書きにくいときは、「今日のこと」などという題名で)	体験 2週目	★いたかった思い出 (書きにくいときは、「今日のこと」などという題名で)

項目表 小4～小5 の苗 (小4～小5)

目標：表現をくふうし、長くわしく書く

項目の★印ができるように書いていきましょう。段落は大体の目安にすぎません。



第1段落	項目	キーワード	説明
Ⓐ 構成	★書き出しの工夫／作文	書き出しの工夫 <<構成>>	会話・色・音・情景で書き出す
↓			
第2段落	項目	キーワード	説明
Ⓑ 題材	★会話	「」長い会話 <<題材>>	会話を思い出して書く
Ⓒ 表現	★たとえ	まるで みたい よう <<表現>>	まるで…のよう
↓			
第3段落	項目	キーワード	説明
Ⓓ 題材	★前の話聞いた話	前 聞 調べ <<題材>>	前の話、聞いた話、調べた話
↓			
第4段落	項目	キーワード	説明
Ⓔ 主題	★思ったこと	思 おも <<主題>>	思ったことを書く
字数	★300字以上	長く書ける人は800字ぐらいを目標に 長く書けない人は100字以上を目標に	

項目の書き方（どれか一つ以上ができるように書きましょう）

★書き出しの工夫（Ⓐ構成）

「やったあ。」

ぼくはさけびました。小学校2年生のとき、はじめてリレーのせんしゅにえらばれたのです。そのとき……

★会話（Ⓑ題材）

そのときのだれかの言ったことを「カギカッコ」を使って書いてみましょう。

★たとえ（Ⓒ表現）

「まるで……」「……みたい」「……よう」などの言葉でたとえを使って書いてみましょう。

私の母は、いつもにこにこしていて、まるでお日様のようだ。

★前の話、聞いた話（Ⓓ題材）

作文の途中に、前の話や、お父さんお母さんなどに聞いた話を入れてみましょう。

（小学校二年生のころの話を書いたあと）

小学校一年生のときには、算数の勉強でがんばったことがあります。それは……

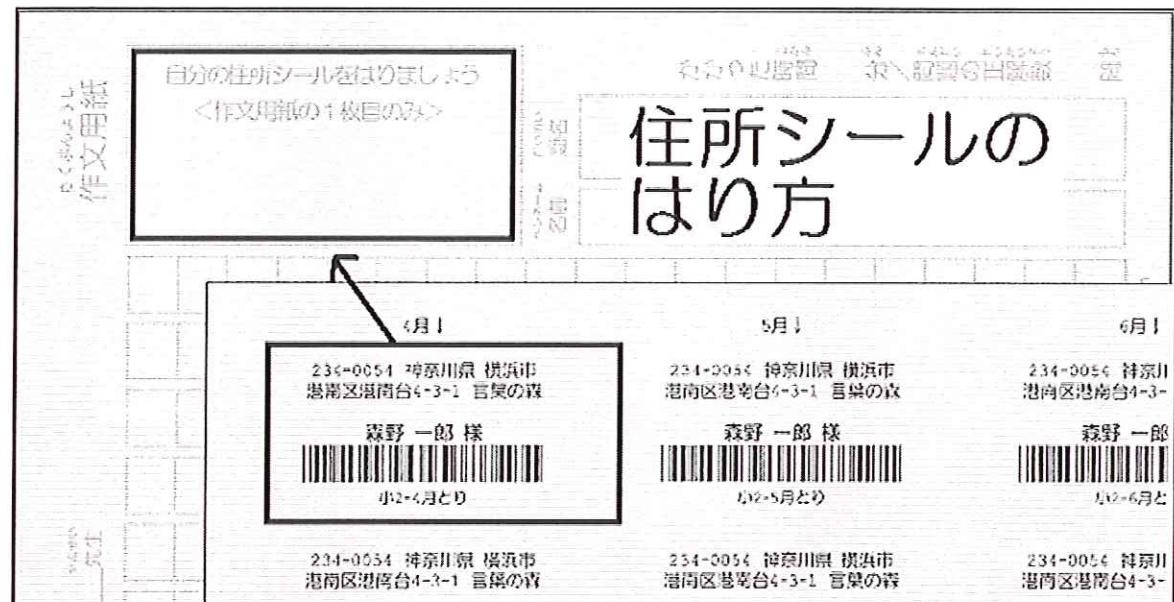
ぼくは、お母さんにも似た話を聞いてみました。すると、お母さんががんばったのは、マラソン大会でした。それは……。

★思ったこと（Ⓔ主題）

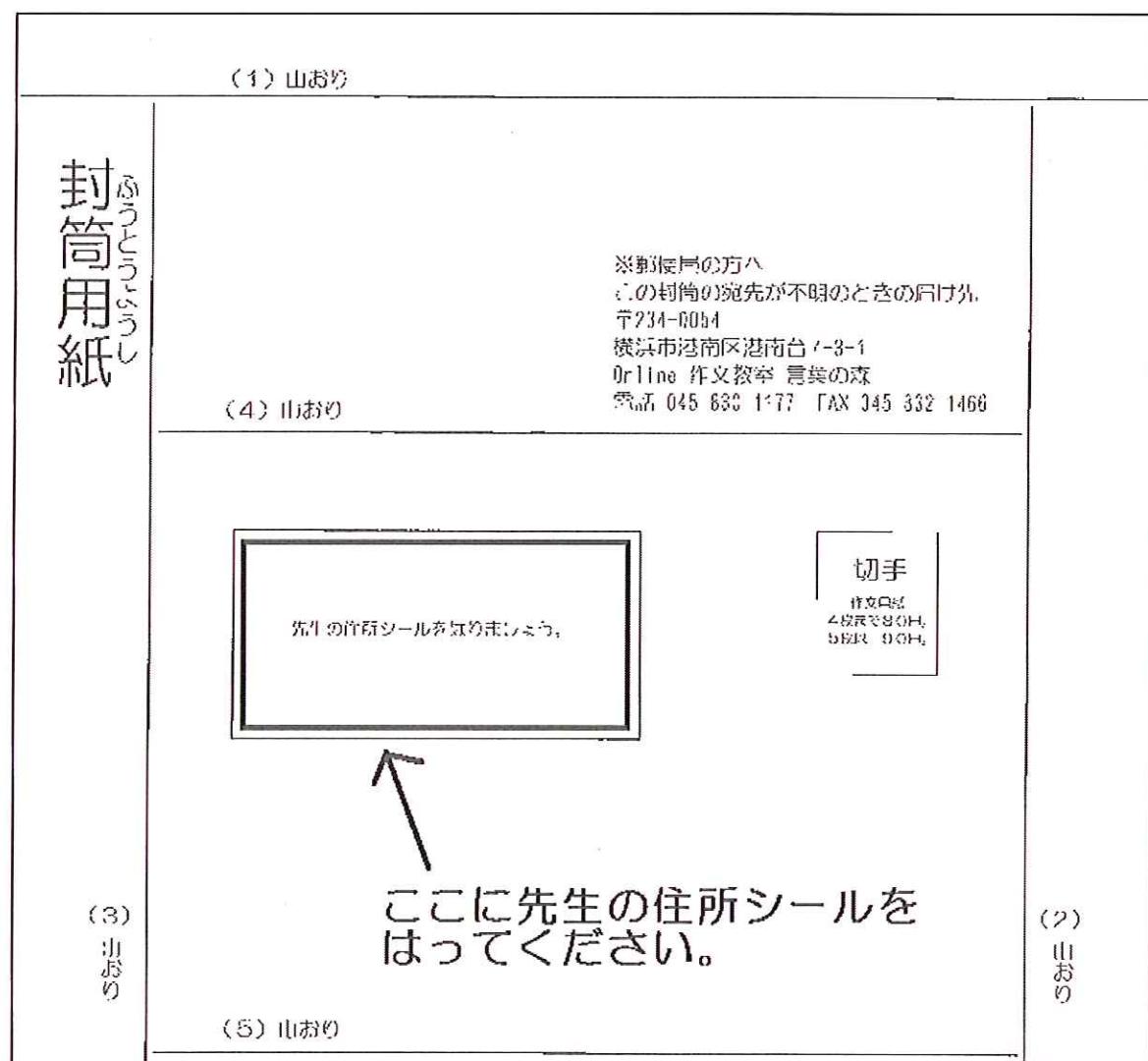
作文の途中や最後に、自分の思ったことを書いてみましょう。

ぼくは、また挑戦（ちょうせん）してみようと思いました。

作文用紙に貼る自分の住所シール



封筒用紙に貼る自分の住所シール



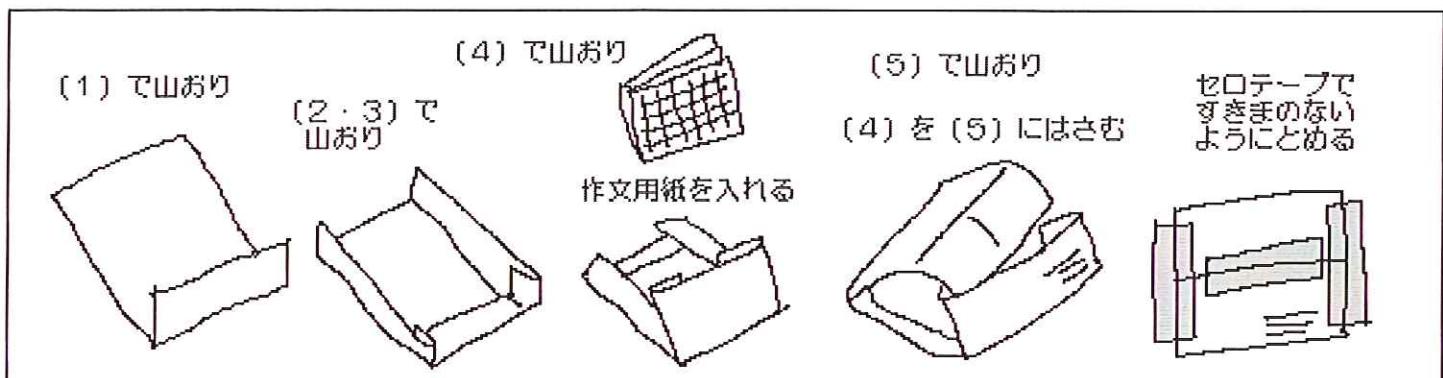
封筒用紙の折り方

封筒用紙には項目住所シールの中にある先生の住所シールと切手をはってください。

切手は、25グラムまで80円、50グラムまで90円です。

(A4サイズの作文用紙4枚までが80円、5?10枚までが90円です)

曜日や時間の変更で、担当の先生が交代した場合は、新しい項目住所シールをお送りします。



①体験学習の一週目

二週目の電話がある前までに、課題を見て、次の週に書くことを考えておきましょう。

③作文の返却とは別に、「山のたより」「言葉の森新聞」という印刷物が送られます。

⑤二回目の作文も、同じように書いて提出します。これで体験学習は終わりです。

②二週目の授業までに作

文が返却されますが、郵便事情などで返却が遅れることもあります。その場合でも、先生は先週の作文をもとに指導しますので勉強には差し支えありません。

④二週目の同じ時間に、担当の先生から二回目の電話があります。

⑥二回目の作文は、三週目までに返却されます。体験学習のあと入会される場合は、三週目の授業がある日までに教室までご連絡ください。

①入会後の勉強

入会後は、「体験学習用課題フォルダ」とは別の「その学期の課題フォルダ」で勉強していきます。

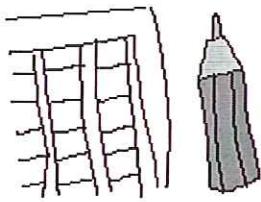
⑤ 親子の対話が国語力を育てます。作文や長文をもとに親子で楽しく話をする時間を作ってください。

③ 作文は他人と比較せず、いつも本人の作文のいいところを認めてあげてください。

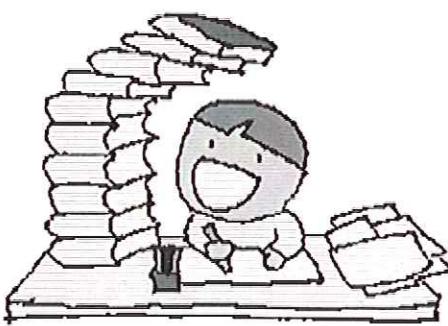
② 電話を受ける前に書くことを決めておきましょう。

必要に応じて家族に似た話を聞いてみましょう。
感想文の場合は、長文を読んでおきましょう。

⑥



④ 作文は直したり注意したりせずに、項目のできたところを中心に見てあげてください。



いつもよいところを見て、楽しく長く続けられるようにしてください。

ホツチキスの針の部分は、
ゼロテープなどでとめてお使いください。



小4~5年生用